

### ○有機フッ素化合物とは

有機フッ素化合物（PFAS）とは炭素とフッ素の結合した有機化合物であり、代表的なものとして、PFOS（ペルフルオロオクタンスルホン酸）とPFOA（ペルフルオロオクタタン酸）があります。

PFOS 及び PFOA は、耐熱性や耐薬品性に優れ、主な用途として撥水剤、泡消火剤や界面活性剤等として幅広く使用されていました。

PFOS については平成 22 年、PFOA についても令和 3 年に製造・輸入等が禁止されました。

また、PFOS 及び PFOA と同様の性質を持ち、その代替品として使用される PFHxS（ペルフルオロヘキサンスルホン酸）があり、国内での製造・輸入等を禁止する動きがあります。

### ○健康への影響について

PFOS、PFOA は、人においてはコレステロール値の上昇、発がん、免疫系等との関連が報告されていますが、十分な知見はありません。そのため、国際的に様々な知見に基づく基準値等の検討が進められています。

### ○水道水中の有機フッ素化合物の基準について

令和 2 年 4 月 1 日から、水道水中の PFOS 及び PFOA については、「水質管理目標設定項目」として位置づけられ、暫定目標値は「PFOS 及び PFOA の合算値として 1 リットルあたり 50 ナノグラム (ng) 以下」に設定されました。

また、PFHxS についても、令和 3 年 4 月 1 日に「要検討項目」として位置づけられ、目標値は設定されていません。

PFOS 及び PFOA の暫定目標値である 50ng/L は、体重 50 kg の人が水を一生涯にわたって毎日 2 リットル飲用したとしても、この濃度以下であれば人の健康に悪影響が生じないと考えられる値です。

これは、意図的に使用されていないにもかかわらず食品中に存在する物質を、人が生涯にわたり摂取し続けても健康に影響が出ないとされる体重 1 kg 当たりの一日分の摂取量となる耐容摂取量（TDI：20ng/kg/日）を用いています。

体重 50kg の人が水を一生涯にわたって毎日 2 リットル飲用するという条件で計算すると、PFOS と PFOA の評価値はそれぞれ 50ng/L となります。なお、摂取量全体に占める水からの摂取量が TDI の 10%以下になるように安全側に立って計算しています。

さらに、安全側の観点から PFOS と PFOA の合算値として 50 ng/L 以下を暫定目標値として定めています。